

携帯持ち込み案、承認へ



錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

225号
携帯速報版

携帯持ち込み案が承認
代議員長と歴代生徒会
長2人に承認発表後の思
いを聞いた

持ち込み開始日は未定

4月19日(水)、LHRで行われた2、3年の生徒集会で、生徒会長の高橋夏音さん(3D)と代議員長の高坂美羽(3I)さんから携帯持ち込み認可の職員会議での承認が発表された。

信頼の上の持ち込み認可

集会は高橋さんの「皆さんにご報告があります」という一声で始まった。マイクを引き継いだ高坂さんが「長らく錦城で議論されてきた携帯についての問題です



承認が発表されて喜ぶ錦城生。思いおぼいの感想を語る

が、このたび認可されることとなりました」と言った瞬間、生徒からは拍手と歓声があがった。続いて高坂さんは「あくまで持ち込みはOK、これまで通り使用は禁止です」と熱い口調で念を押した。そして「小平ロードやバスの中、自転車ではマナーとして当たり前だとは思いますが、使うことができません」と述べた後「持ち込みには一人ひとりに申請書の提出が必要になります。また連絡があると思います」と釘を刺した。最後に高橋さんが「この認可は生徒と先生方の

信頼関係の上で成り立っているもの。今後ルールが守られないようであれば、もちろん元の状態に戻る可能性もあります」と静かに締めくくった。3代前の51回生から、様々な経過を経て進んできたこの持ち込み認可です。今回の承認は私たちが自分たちの力で自分たちのルールを変えた記念すべき第一歩です。生徒一人ひとりが錦城生としての自覚を持って、これからも過ごしてほしいです」と決意を新たにしました。

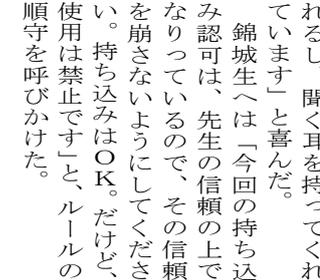
今回の承認の意味を考えて、携帯持ち込み認可活動は、51代会長の丸田元会長率いる中央委員会が本格的に始め、試用期間を設ける方針にまで至った。しかし没収が相



使用は禁止だと言葉を繰り返す高坂さん

次ぎ、ある生徒が授業中に携帯で写真を撮り、その画像をSNSに流出させた問題が起きる。それによって、生徒と教師の信頼関係が崩れてしまった。中央委員会は携帯持ち込み案を取り下げざるを得ない状況になった。その次の代から再度活動を開始し、代議員会やクラスでの審議を重ね、高橋会長の代でやっと職員会議では持ち込みは認可という結果になった。

承認が発表されたとはいえず、保護者への通達や詳しいルールの制定などまだ踏むべき段階があり、持ち込み開始日は未定だ。生徒はその事をしっかりと理解し、今回の承認を受けとめよう。



身振り手振りを交えて話してくれた高坂さん

錦城生へは「今回の持ち込み認可は、先生の信頼の上でなっているのだから、その信頼を崩さないようにしてください。持ち込みはOK、だけど、使用は禁止です」と、ルールの順守を呼びかけた。

代議員長にインタビュー

生徒集会での持ち込み認可で大変だったことは、代議員の発表を行った代議員長の高坂美羽さん(3I)に話を聞いた。今回の持ち込み認可について「丸田会長が発案してずっと話してきたことだし、みんなの協力と先生の信頼があって成り立つものなので感謝です」と話した。活動していく中、聞き耳を持ってくださいます」と喜んだ。



2年前の6月30日に、一度認可について学校側と生徒会の会議が行われた

全体が一丸となったこと。それが、とにかく感慨深い」と生徒の協力の感謝。しかし「校則違反が問題として挙げられる中、アンケートではやくお前らだけで何とかしろよ」みたいな意見が多く、自分の代では持ち込み許可まではいけない」と悔いの残る思いを語る。

最後に「高校生活をもっとこうすれば良かったと思うところもあると思います。でも、そんなときに、『まあ楽しかったからいつか』と笑えるように、一杯楽しんで」と暖かいエールを送った。

歴代生徒会長、認可への想い語る

3年目にして遂に達成

52代生徒会長の牧野魁人くんは「3年目にしてようやく目的が達成されて嬉しい」と喜びを話す。認可を進めるうえでの苦労は「生徒は出来るだけ自由に、学校側は学業への支障や問題が起こらないよう双方の妥協点を見つけない」と話す。その際中央委員の努力や生徒の協力が大きな役割を果たしたそう。